

全体集会

令和6年4月15日

一年で一番花々が美しく咲き誇るこの季節、令和6年度も4/8に始業式、9日に入学式があり、新たに迎えた1年生157名を加え、全校生徒409名となりました。生徒数が400名を超えるのは3年ぶりです。少子化が進む中において生徒数が増える隼工の成長は、霧島市の繁栄と、生徒の皆さんと先生方の地域協働による活動や、部活動等における活躍によって、注目が集まったことなどが反映してのことと思います。この生徒数増による活気が、益々隼工にとって、生徒の皆さんにとって、切磋琢磨し、社会に巣立つ直前の高校生活が、意義有るものへとなることを祈念しております。

そこで皆さんに、**意義有る楽しい高校生活**を送るための秘訣を、本日は2つお話します。一つは、行動を起こす前の判断には、その前の情報収集が大切なことを、皆さんも知っているとおりです。そこで2、3年生には始業式でもお話ししましたが、「話は、目で聴き、耳で観る」ことを心がけてください。「聴く」という漢字は、耳を傾けて聴くという傾聴の方の聴くです。「観る」は、「観察」の観です。灼熱の太陽に照らされて枯れかけた花々を目にしたとします。その花を観て、花々が何と訴えかけているかを皆さんは聴くことができるのではないのでしょうか。また、耳で聴いた枯れかけた花々も今まさに観たように頭の中に描かれたのではないのでしょうか。世の中は通信速度も4Gから5Gへと移行し、society5.0と言われる情報化社会に入ります。その中であって、自分の人間力で判断を迫られる場面が必ずやってきます。いつ、その判断の基となる情報の取り方を学ぶか。ですが、普段の生活や授業の中で、すでに始まっています。善悪の判断はもちろんのことですが、誰の利になることを話しているのか「目で聴き、耳で観る」習慣を身につけて、しっかりと聴き観定め、思慮深さや判断力へとつなげてください。

二つ目は、本校の教育目標は「**実践的産業人の育成**」です。専門知識や技術を身につけて、産業界に貢献する人材となって欲しいのはもちろんのことですが、その前に、成長途中である皆さんが、まず「人として」どうあるべきか、を、考えて欲しいと思います。本日から19日まで「いじめ問題を考える週間」であり「人権意識を高める」ことから、リアルな社会を生きていくために、「人として」を考えることは、大変貴重な基礎の部分です。生活をしていると多くの喜びと悲しみなどがあることは、人それぞれ起こることです。だからといって、他人の想いに配慮せず、自分の思ったように、都合の良いように言動することが、社会で共感を得られることとは決して思えません。人の顔は皆違うように、生まれた環境や想いはそれぞれです。人は一人で育った訳でなく今在ることも直接的・間接的に他の人々の支えがあって生活ができています。知識・技術を身につける前に、まず人として他を敬い、人の想いを大切にすることで、また自分の生かされる道を見つけることが叶うのです。人として、人の想いを大切にする。という揺るぎない基礎。この人ならいいだろう、この人は厳しいからと、決して人を見て、都合の良い伸び縮みする定規にならないように、ぶれない「人の想いを大切に」するという基準を作り上げてください。本日は全員が揃ったところで、改めて「**意義有る楽しい高校生活**を送るための秘訣」として「**目で聴き、耳で観る**」と「**人の想いを大切に**」の2つをお話し、皆さんがこの隼工で人としての大きな成長を願って、本日の全体集会の挨拶といたします。